

様式第3号（第13条関係）

会議録

会議の名称	令和7年度朝霞市立朝霞第二中学校第3回学校運営協議会		
開催日時	令和7年 8月26日(火)	午後 2時00分から 午後 4時00分まで	
開催場所	東洋大学朝霞キャンパス1号館3階1301教室		
出席者の職・氏名	会長 田原 亮      委員 勝瀬 亮助      委員 宮林 信明 委員 比留間 寿昭   委員 角谷 昌則 委員 小石川 知治 朝霞二中教職員35名 （司会 教頭 滝田 真人・記録 教諭 小松 健）		
欠席者の職・氏名	委員 清水 良樹      委員 富重 淳		
議題	・「生徒の良さをさらに伸ばすために、学校・家庭・地域でできること」 ・「保護者・地域とのつながりを強め、協力を広げるにはどうしたらよいか」		
会議資料	・朝霞市立朝霞第二中学校令和7年度【熟議】 事前アンケート結果報告		
会議録の作成方針	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした全文記録		
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした要点記録		
	<input checked="" type="checkbox"/> 要点記録		
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録での保管（保存年限      年）		
	電磁的記録から文書に書き起こした場合の当該電磁的記録の保存期間	<input type="checkbox"/> 会議録の確認後消去 <input type="checkbox"/> 会議録の確認後      か月	
	会議録の確認方法      による確認		
傍聴者の数	傍聴者      0人		
その他の必要事項			

## 審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

### 1. 開会の言葉および諸連絡（本日の予定等）

### 2. 会長あいさつ

たくさんの二中職員に参加して頂きありがとうございます。

会場として東洋大学の会議室をお借りして実施することができました。

これまで、先生方からFormsでご意見を集めてまいりましたので、そのご意見を元に熟議を進められればと考えています。どうぞよろしくお願い致します。

### 3. 校長あいさつ

本日はどうもありがとうございます。

夏季休業中の校内研修として、学校運営協議会の取組として熟議を実施することになりました。学校運営協議会委員の皆様と先生方で熟議を進めていただき、課題を共有したり解決策等を同じ目線で考えることができると今後につながると思っています。皆様の積極的な協議をよろしくお願ひします。

### 4. 協 議

（1）「生徒の良さをさらに伸ばすために、学校・家庭・地域でできること」

教職員は4グループに分かれ、学校運営協議会委員をファシリテーターとして熟議を実施する。

（第1グループ）

- ・生徒の強みは部活動の活発さやあいさつの良さ
- ・地域の大人が生徒に関わる機会の大切さを共有→保護者同士のつながりを深めること
- ・保護者や地域の肩が参加できる行事やイベントの存在が重要

（第2グループ）

- ・地域の大人同士がお互いの顔や関係性を十分に知らない現状があり、そこに無関心が生まれるのではないか
- ・「無関心」の反対は「愛を持って関わる」こと

- ・学校・家庭・地域の三者が思いやりや関心を持って関わるのが、生徒の良さを伸ばす上で最も大切である

（第3グループ）

- ・生徒と関わる大人の数や時間を増やすことが生徒の成長につながる
- ・学校がこれまで行ってきた取組を家庭や地域を巻き込んだ形に広げられないか
- ・教職員と地域と一緒に取り組む清掃活動や環境整備などをとおして関係性を深められないか

- ・家庭が学校と同じベクトルで生徒を支えていくことの重要性を確認

（第4グループ）

- ・「生徒の活動をどう外に見せていくか」、生徒の頑張りや日々の活動を、より多くの人に知ってもらう

- ・「何を見せたいのか」を学校側が意識的に考えることが重要

- ・「何を発信したいか、何を生徒達に体験させたいか」を考えるのは学校

- ・その姿を見せる場や機会を用意するのが地域

（2）「保護者・地域とのつながりを強め、協力を広げるにはどうしたらよいか」

教職員は4グループに分かれ、学校運営協議会委員をファシリテーターとして熟議を実施する。

(第1グループ)

- ・SNS等を活用した情報発信
- ・どこまで情報を公開するか、生徒の安全確保が課題
- ・学校で今、どのような教育活動が行われているのかを、適切な形で家庭・地域に伝えていくことが、信頼関係と協力関係の強化につながる

(第2グループ)

- ・地域や学校を巻き込んだ文化祭のような行事を再び実施できないか
- ・生徒・保護者・地域が自然に接点を持てる場を作る
- ・地域の方々が持つ仕事や得意分野、専門性を生かし、生徒が活動に参加することで、地域とのつながりが深められるのではないか
- ・「顔が見える関係づくり」と「愛を持って関わる場を増やすこと」が生徒の良さをさらに伸ばし、学校・家庭・地域の連携を深める鍵である

(第3グループ)

- ・新規事業ではなく、今ある学校生活の中に地域や家庭が関われる仕組みを組み込む
- ・生徒自身が情報を発信する側に関わる可能性
- ・多様な大人の目や関わりがある環境の中でこそ、生徒は大きく成長できる

(第4グループ)

- ・地域にとってわかりやすく、必要性を実感できる情報の流れを作ることが大切

(全体総括)

- ・各グループの熟議をとおして再確認されたことは、朝霞第二中学校の生徒が持つあいさつ・礼儀・明るさ・部活動の活発さで行った大きな強み
- ・今ある教育活動や地域資源をどうつなぎ、どう見える形にしていくか
- ・学校・家庭・地域が同じ方向を向いて子供を育てていくための共通理解を深める場
- ・今後に向けて、できることを、できる人が、できる形で関わるという視点を共有
- ・今後も学校運営協議会が地域とともにある学校づくりを支える中核的な場として機能していくこと期待し、取り組んでいく。

## 5. 次回の学校運営協議会について

- ・第4回学校運営協議会の日程は12月22日(月)午後3時から朝霞第二中学校、1階教育相談室を予定している。

## 6. その他(諸連絡)

- ・この後懇親会があるので参加できる方は参加してください。

## 7. 閉会の言葉